

ミニ展示「戦後80年 あのと時新聞は何を伝えたか」1945年4月展示紙面リスト

1945年4月の出来事	新聞名	新聞日付	補足説明
敵、沖縄本島に上陸を開始	読売報知	1945年4月2日	県民の4人に1人が命を落とした沖縄戦の始まり
鈴木内閣成立す	毎日新聞	1945年4月8日	最高齢（77歳）で就任した鈴木貫太郎首相。ポツダム宣言を受諾し、総辞職
ルーズベルト急死	朝日新聞	1945年4月14日	日米開戦時の米大統領。後任はトルーマン
B29 二百機機浜来襲	毎日新聞	1945年4月17日	川崎の市街地や南部線沿いは壊滅。「川崎大空襲」として語り継がれている。
量は増え、人手は足りず⇒郵便遅れる	毎日新聞	1945年4月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電信・電話・電報は戦局の関係で、国民の利用が大幅に制限された ・ 疎開などで人の動きがはげしく、通信手段として郵便利用が増加 ・ 打開策：「勤務時間を8時間から15時間に延長」……!! 「熟練者の中には24時間勤務をとっている人も」……!!
多い？ 少ない？ たばこ1人3本から7本に	毎日新聞	1945年4月12日	
来るべき日!?!に備えよう 手りゅう弾の扱い方	朝日新聞	1945年4月16日	手りゅう弾の種類、構造、使用法、投げ方などを詳しく紹介。信濃毎日新聞主筆・桐生悠々は、敵機を関東の空に迎え撃つということは我が軍の敗北そのもの、と関東防空大演習を批判しましたが、国民一人一人が手りゅう弾で応戦する事態が想定されるとは……
北海道で「通信取締強調期間」	北海道新聞	1945年4月16日	<p>北海道で「通信取締強調期間」 【通信してはいけないもの】!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 露隊や艦隊の動静その移動状況、各地気象状況 ② 船舶の行動、特に発着港およびその日時 ③ 醫局発表以外の戦況 ④ 曇暑あいさつ以外の気象状況 ⑤ 露事工場施設の規模および生産品・生産額、その他職場の秘密 ⑥ 匭資不足、配給不円滑に関する不平不満 ⑦ 戦局の将来に対する憶測的浮説
横浜で「寺小屋式教育」	毎日新聞	1945年4月28日	横浜市で行われた「寺小屋式教育」。学童疎開の対象とならなかった国民学校1、2年生と市内に残った3年以上の児童について、町内会単位で班を組織し、各班2時間ずつ、約50人に1人の教員（主に女性教員）が巡回して「訓育」にあたりました。